

『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』(全国統一防火標語) ～平成27年度 春の火災予防運動防火パレード出動式～



4月13日から19日の期間中、平成27年度春の火災予防運動が実施されました。この運動は村民の防火意識を高めるために行われたもので、『もういいかい 火を消すまでは まあだだよ』の全国統一防火標語のもと、火災への予防意識や火の元の注意を呼びかけました。

運動初日の13日には、東通消防署前を会場に防火パレード出動式が開催され、東通消防署員が整列する中、こども園ひがしどおり幼年消防クラブの園児たちが元気いっぱいの纏振りを披露し、防火の誓いを立てました。

今年は既に車両火災が1件発生しています。春は空気が乾燥しているため火災が発生しやすく、延焼が拡大しやすい季節です。また、暖房器具を使用する機会も多い季節です。

一人ひとりが、普段の生活中で防火に対する意識を高め、火災を予防しましょう。



東北電力（株）東通原子力発電所が実験器具などを寄贈

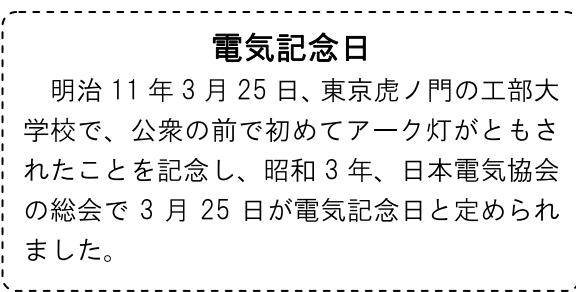


同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書などの環境やエネルギーに関するたくさんの副教材を寄贈してきました。33回目となつた今回は、実験器具など96台を寄贈いたしました。

これまで寄贈いただいた図書や今回の実験器具などの副教材は、次世代を担う子供たちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身を育むため活用されます。

電気記念日

明治11年3月25日、東京虎ノ門の工部大学校で、公衆の前で初めてアーク灯がともされたことを記念し、昭和3年、日本電気協会の総会で3月25日が電気記念日と定められました。



このうち小学校へは、自分で作った電気をためて電球などを利用する「蓄電実験器」などが、中学校へはレンズを使った教育副教材を東通村へ寄贈しました。

理解する「光学台」などが贈られます。